

コード	205031504
記入日	H24.5.22

課コード	121
課名	消防本部
課長名	下山 勲
担当者	窄口 雅昭

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防救急無線デジタル化整備事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	1
事務事業コード	2050315	事務事業名称	施設維持管理事業費	細目コード	931
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 住民		(対象指標1)	22,720人口(H23.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
(全体計画) ・消防本部が保有する消防用無線施設の更新を図るため、平成23年度から基本設計に着手し、27年度までの5カ年をかけて実施設計、施工管理、整備を行い、現設備の解体撤去までをおこなう。 →平成23年度 基本設計 →平成24年度 実施設計 →平成25・26年度 施工監理及び工事 →平成27年度 旧システム撤去	(平成23年度) ・消防救急無線デジタル化整備事業基本設計業務が完了した。	基本・実施設計	1.0式	50%	実施事業÷ 計画事業	平成24年度	
		基本・実施設計	1.0式	100%		平成23年度	
		① (達成率分析)	計画どおり基本設計業務を委託した。				
		②	本体・撤去工事	1.0式	0%	実施事業÷ 計画事業	平成27年度
	本体・撤去工事	1.0式	0%	平成23年度			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
・国の方針に基づき消防救急無線のデジタル化を図る。・現在のアナログ方式からデジタル方式へ移行し、不感地域の解消を図り災害現場や医療現場等、消防救急無線の鮮明な交信により災害弱者となりうる地域住民の安心安全を確保する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		進捗率	10,868千円	1.7%	実施事業費÷ 計画事業費	平成27年度	
		進捗率	10,868千円	100%		平成23年度	
		① (達成率分析)	計画どおり、基本設計業務が完了した。				
		② (達成率分析)					

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0	1.0				
	② 式	1.0						1.0	1.0	1.0	
成果指標	① %	100	1.7		1.7	1.7	2.7	56.8	38.0	0.8	
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	643,132	11,568		11,568	11,568	17,857	363,989	244,293	5,425	
直接事業費 A	千円	639,632	10,868		10,868	10,868	17,157	363,289	243,593	4,725	
人件費 B	千円	3,500	700		700	700	700	700	700	700	
内訳	従事職員数	人	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	623,800				17,100	363,200	243,500		
	その他	千円									
一般財源	千円	19,332	11,568		11,568	11,568	757	789	793	5,425	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

<b>1 次 評 価</b>	<b>妥 当 生</b>	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	<b>理 由</b>	現消防救急無線システムは、アナログ無線利用者と通信量の増大により周波数有効利用に限界が来ていることから、国がデジタル通信方式への移行を平成28年5月末日までにを行うよう示しているため。
	<b>有 効 性</b>	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	<b>理 由</b>	総事業費が莫大な金額となるため単年度での事業は困難であるため、他の県内自治体の実績と動向を見ながら事業を進める。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	<b>理 由</b>	事業に対する進捗状況について最も妥当であるため。
	<b>効 率 性</b>	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	<b>理 由</b>	デジタル化に伴う施設設置現地調査や電波伝搬調査等、事業に係る情報資料が得られた。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	<b>理 由</b>	最小限の人員、事業費にて最大の効果を発揮できるよう努めており、他の手法には変えられない。

**改善 ( ACTION )**

<b>1 次 評 価</b>	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	***** (平成23年度からの新規事業) *****
	今後、課題に向けた改善策	最小の経費で最大の効果が得られるよう、計画実施の効果を検証し、翌年度以降の計画に反映させる。

<b>2 次 評 価</b>	<p>新上五島町内の防災機能の確保・維持に資する事業ではあるが、事業費が膨大であることから国の補助制度等の動向や情報収集に努め経費の削減に努めること。また、国の方針である平成28年5月末までに移行できるよう事業の進捗状況を管理すること。</p>
----------------------------	--

<b>3次評価 住民等の意見</b>	
<b>町の 対応</b>	

<b>今後の事業 の方向性</b>	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。